

**SHOWER APPARATUS FOR BATHROOM**

Patent Number: JP2002078633  
Publication date: 2002-03-19  
Inventor(s): SUGANO HIDETOSHI; YASUI TAKAHIRO  
Applicant(s): HITACHI CHEM CO LTD;; HITACHI KASEI UNIT CO LTD  
Requested Patent: ☐ JP2002078633  
Application Number: JP20000271723 20000907  
Priority Number(s):  
IPC Classification: A47K3/28; E03C1/06  
EC Classification:  
Equivalents:

---

**Abstract**

---

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a shower apparatus for a bathroom with which one can wash out the body using the both hands freely in the middle of the washing space and wash out the whole body all at once.

**SOLUTION:** This shower apparatus for a bathroom has an arm 2 coming from the upper part of a bathroom wall 1. A showerhead 3, fixed on the top of the arm 2, is located above the head in the middle of the washing space 4.

---

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-78633

(P2002-78633A)

(43) 公開日 平成14年3月19日 (2002.3.19)

(51) IntCl.<sup>7</sup>

識別記号

F I

テマコード\* (参考)

A 4 7 K 3/28

E 0 3 C 1/06

2 D 0 3 2

E 0 3 C 1/06

A 4 7 K 3/22

2 D 0 6 0

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2000-271723 (P2000-271723)

(22) 出願日 平成12年9月7日 (2000.9.7)

(71) 出願人 000004455

日立化成工業株式会社

東京都新宿区西新宿2丁目1番1号

(71) 出願人 000233181

日立化成ユニット株式会社

富山県富山市一本木1010番地

(72) 発明者 菅野 秀俊

富山県富山市一本木1010番地 日立化成ユ  
ニット株式会社内

(72) 発明者 安井 崇博

富山県富山市一本木1010番地 日立化成ユ  
ニット株式会社内

Fターム (参考) 2D032 FA02

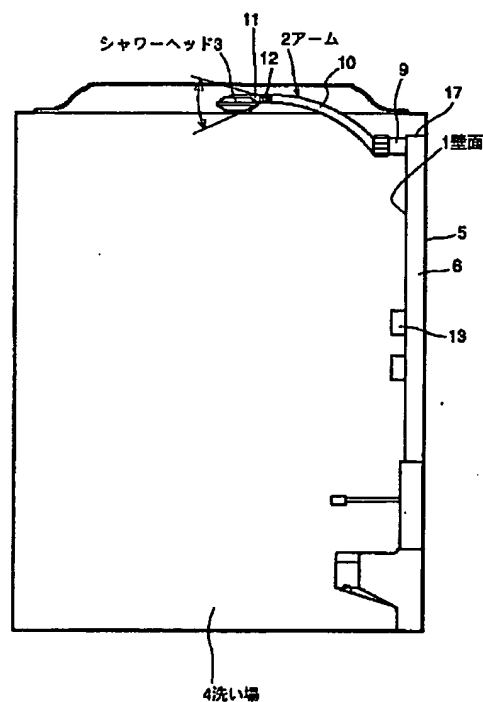
2D060 BA01 BF06

(54) 【発明の名称】 浴室用シャワー装置

(57) 【要約】

【課題】両手を自由に使いながらも洗い場の中央部で身体を洗い流すことができ、しかも、身体の全面を一時に洗い流せる浴室用シャワー装置を提供する。

【解決手段】浴室壁面1の上部からアーム2を突出させ、そのアーム2の先端部に固定したシャワーヘッド3が洗い場4の中央部上方にくるように配置してある浴室用シャワー装置。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】浴室壁面(1)の上部からアーム(2)を突出させ、アーム(2)の先端部に固定したシャワーヘッド(3)を洗い場(4)の中央部上方に配置していること特徴とする浴室用シャワー装置。

【請求項2】アーム(2)は、その基部側を中心にして水平方向に揺動可能に構成されている請求項1記載の浴室用シャワー装置。

【請求項3】アーム(2)は、その先端が首振り可能に構成されている請求項1又は2記載の浴室用シャワー装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、浴室用シャワー装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来の浴室用シャワー装置としては、ヘッド付きの持ち手を壁面のフックに引っ掛けるものが一般的に知られている。これは、フックに持ち手を引っ掛けた状態では、ヘッドは壁面から僅かに離れているだけなので、散水範囲が壁面の近くに限られていた。従って、両手を自由に使いながら身体を洗い流すには、身体を壁面の近くに寄せなければならず、窮屈であった。また、身体の前側から散水されるので、身体を全面に洗い流すには、胸側を洗った後に身体向きを変えて背中側を洗うようにしなければならなかった。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は上記実情を考慮して開発されたもので、その目的は、両手を自由に使いながらも洗い場の中央部で身体を洗い流すことができ、しかも、身体を全面を一時に洗い流せる浴室用シャワー装置を提供することである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、浴室壁面の上部からアーム2を突出させ、そのアーム2の先端部に固定したシャワーヘッド3が洗い場4の中央部上方にくるように配置してある浴室用シャワー装置である。

【0005】ここで、浴室壁面とは、浴室内の周囲を囲む内面の全てをいい、壁パネルの表面だけに限らず、壁パネルの内側に収納ケースなどの別体が後付けしてある場合にはその別体の表面をも含む概念である。また、アームに給水する配管は壁パネルの裏側を通してよく、前記別体と壁パネルとの間の空間に通してもよい。

【0006】また、アーム及びシャワーヘッドは不動構造としてもよいが、散水範囲を変えるには、好ましくは、アームの基部側を中心にして水平方向に揺動可能に構成するか、アームの先端(シャワーヘッド側)を首振り可能に構成し、更に好ましくは、その両機能(すなわち、多関節のシャワーヘッド及びアーム)を持ち合わせた構成とする。

## 【0007】

【発明の実施の形態】以下、添付図面により、本発明を更に具体的に説明する。図1は本発明の一例の浴室用シャワー装置の正面図、図2はその平面図である。本発明の浴室用シャワー装置は、図1及び図2に示すように、壁面1の上部からアーム2を突出させると共に、アーム2の先端に固定的に取り付けられるシャワーヘッド3が洗い場4の中央部上方にくるように配置してある。

【0008】壁面1は、壁パネル5の表面と、壁パネル5に固定した収納ケース6の表面とから構成してあり、収納ケース6内に配管7を上下に通してある。

【0009】また、平面視した場合に浴室は、洗い場4と、浴槽場8とに分けられる。

【0010】アーム2は、機能的に言えば、その基部側を中心にして水平方向に揺動可能に設けると共に、先端を首振り可能に設け、その先端部に固定したシャワーヘッド3の角度を変更可能に設けてある。具体的に言えば、アーム2は、配管7に連結した導管9を収納ケース6内から洗い場4側に突出させると共に、導管9の先端部にアーム本体10を揺動可能に連結し、アーム本体10の先端にヘッド取付部11をフレキシブルパイプ12を介して連結し、シャワーヘッド3に給水するものである。

【0011】前述したようにアーム2を揺動可能に設けてあるので、シャワーヘッド3を浴槽場8から遠い側(図中、手前側)の壁面に寄り添う形態としてもよいし、浴槽を洗う場合には浴槽側に寄せた形態としてもよい。

【0012】シャワーヘッド3は、水流が一箇所に集中可能で且つ広範囲に撒水可能なもので、俗に打たせ湯やミストと言われるような水流の出し方を可能としてある。その機能の切り換え操作は、収納ケース6の中間高さ部分に取り付けた水流切換ハンドル13を、立った人が操作することによって行われる。なお、シャワーヘッド3の位置は、真下に立った成人よりも高く、しかも、腕を軽く伸ばして操作できる程度、具体的には、床面から2m程度、収納ケース側の壁面から660mm程度離れている。

【0013】収納ケース6は、壁パネル5の一部を棚14付きパネル15で形成し、棚14付きパネル15の左右に中空形状のタワー16を、上に庇17を後付し、両タワー間16、16の前側に扉18を開閉可能に取り付けたものである。なお、タワー16内部に配管7を通し、その上部から導管9を突出してあるので、配管7と導管9の接続が浴室で行え、接続作業性が容易である。

## 【0014】

【発明の効果】本発明の浴室用シャワー装置は、洗い場の中央部上方にシャワーヘッドが位置するので、両手を自由に使いながら洗い場の中央部で身体を洗うことがで

き、その上、真上から散水されるので、身体の全面を一時に洗い流せることになる。

【0015】また、アームの基部側を中心にして水平方向に揺動可能、あるいは、アームの先部（シャワーヘッド側）が首振り可能な浴室用シャワー装置とすれば、散水範囲を容易に調整することができる。

【図面の簡単な説明】

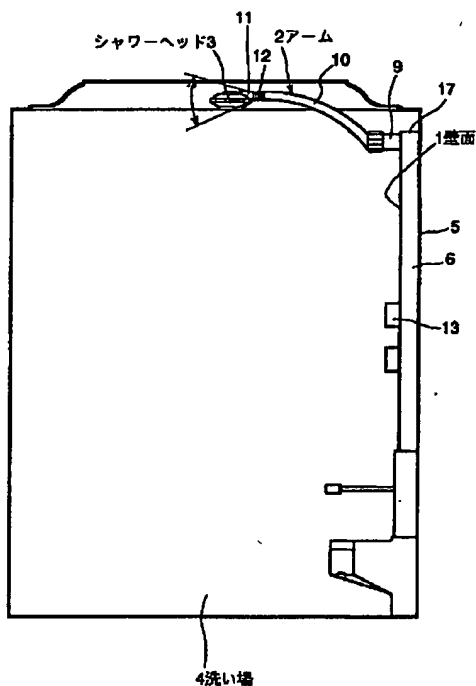
【図1】本発明の浴室用シャワー装置を示す正面図である。

【図2】本発明の浴室用シャワー装置を示す平面図である。

【符号の説明】

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1：壁面        | 2：アーム        |
| 3：シャワーヘッド   | 4：洗い場        |
| 5：壁パネル      | 6：収納ケース      |
| 7：配管        | 8：浴槽場        |
| 9：導管        | 10：アーム本体     |
| 11：ヘッド取付部   | 12：フレキシブルパイプ |
| 13：水流切替ハンドル | 14：棚         |
| 15：パネル      | 16：タワー       |
| 17：庇（ひさし）   | 18：扉         |

【図1】



【図2】

